

第四次産業革命スキル習得講座 修了時実施状況報告書(令和6年度実績)

令和6年度の認定講座の運営状況について、下記のとおり、修了時のアンケート結果を報告します。

調査対象講座の名称	AR/VR専門家育成プログラム
認定講座番号	50511-1110

(1) 講座の開催状況

①令和6年度内の開講回数(うち、すべてオンラインで実施した回数)	2(0) 回	→「0回」と回答した事業者は(3)へ
②令和6年度内の受講者数(うち、すべてオンラインでの受講者数)	78(43) 人	
③令和6年度内の修了者(うち、すべてオンラインでの修了者数)	76(42) 人	

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	76 人	
② 受講開始時の就業状況等(問1)	1 正社員	74 人
	うち、就職氷河期世代 (令和6年4月1日時点で38～53歳)	0 人
	2 非正社員、派遣社員	0 人
	うち、就職氷河期世代 (令和6年4月1日時点で38～53歳)	0 人
	3 その他の就業(自営業等)	0 人
	うち、就職氷河期世代 (令和6年4月1日時点で38～53歳)	0 人
4 非就業者	2 人	②A: 就業者計
	うち、就職氷河期世代 (令和6年4月1日時点で38～53歳)	1 人
		74 (0)
		②B: 非就業者計
③ 就業中の受講者による講座の評価(問2)	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	10 人
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	19 人
	3 社内外の評価が高まる	11 人
	4 円滑な転職に役立つ	1 人
	5 趣味・教養に役立つ	21 人
	6 その他の効果	9 人
	7 特に効果はない	3 人
		74
④ 就業していない受講者による講座の評価(問3)	1 早期に就職できる	0 人
	2 希望の職種・業界で就職できる	0 人
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0 人
	4 趣味・教養に役立つ	2 人
	5 その他の効果	0 人
	6 特に効果はない	0 人
		2
⑤ 講座の全体評価(問4)	1 大変満足	50 人
	2 おおむね満足	20 人
	3 どちらとも言えない	6 人
	4 やや不満	0 人
	5 大いに不満	0 人
		76

※年度を跨いで開講している講座については、(2)②の記載にご注意ください。

(3) (1)①で年度内の開講回数が「0回」となった理由

1. 事業者側の開講準備等が間に合わなかったため (具体的説明)
2. 募集したにもかかわらず、受講希望者が集まらなかったため (具体的説明)
3. その他 (具体的説明)

(4) 講座の改善状況

実施要項において当該教育訓練の評価及びその改善を継続的に行う仕組みを有することとしており、教育訓練の内容や方法等について改善を行う必要があります。今後カリキュラム等の変更(更新)を予定している場合は、変更内容や変更時期について可能な範囲で記載をお願いします。なお、記載内容によってはヒアリングを実施させていただく場合もあります。

令和6年4月開講時に挙げた、ARについてもっと学びたいという要望に対し、同年10月に当該講座とは別に「AR/MR専門家育成プログラム」を新設。ただし新設したばかりでまだ給付金対象講座ではなく、給付金が活用できる当該講座「AR/VR専門家育成プログラム」を受講された方がいたが、その後計画通り、「AR/MR専門家育成プログラム」も、経産省リスキル講座および厚労省専門実践教育訓練講座に認定されたため、受講生にとって給付金活用できる講座が2つに増え、改善している。

※本報告書とともに、受講者アンケート(個票)を提出してください。

作成年月日 令和8年2月16日